



株式会社 **ニコン**
広報・IR部

2013年3月期 第1四半期 決算説明会

2012年8月8日
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

Agenda

- I . 2013年3月期 第1四半期の概況**
- II . 2013年3月期の見通し
- III . 参考データ

◆会社全体で前年1Q比 6%増収、営業利益 37%減

【精機】

- ・半導体露光装置は市場縮小の影響を受けて販売台数減、
液晶露光装置は20台超の販売台数を維持
- ・15%減収、営業利益は微減

【映像】

- ・タイ洪水被害から通常の生産量に回復し、レンズ交換式カメラと
交換レンズは好調な需要に応えることができた
- ・14%増収、営業利益は円高影響・販売経費増加などで38%減少

【インストルメンツ】

- ・円高の影響があり、売上高はほぼ前年並み。赤字幅は拡大

2013年3月期 第1四半期 連結売上高・損益

株式会社ニコン
広報・IR部



単位:億円	12年3月期 1Q	13年3月期 1Q	前年実績比
売上高	2,455	2,594	+139
営業利益 売上高比	369 15.0%	233 9.0%	▲136
経常利益 売上高比	377 15.4%	234 9.0%	▲143
当期純利益 売上高比	306 12.5%	157 6.1%	▲149
FCF	13	▲2	▲15
為替:ドル ユーロ	82円 117円	80円 103円	売上高への影響額 ▲124 営業利益への影響額 ▲47

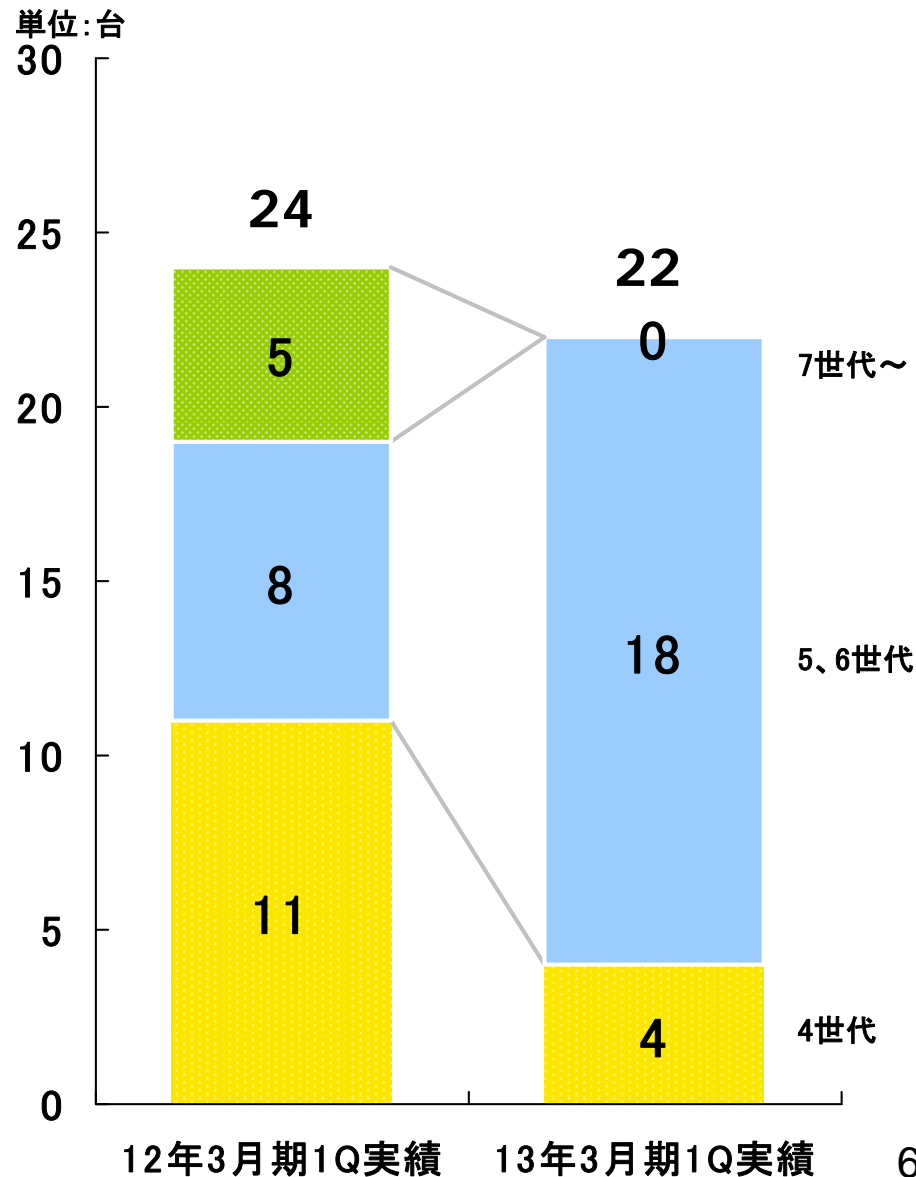
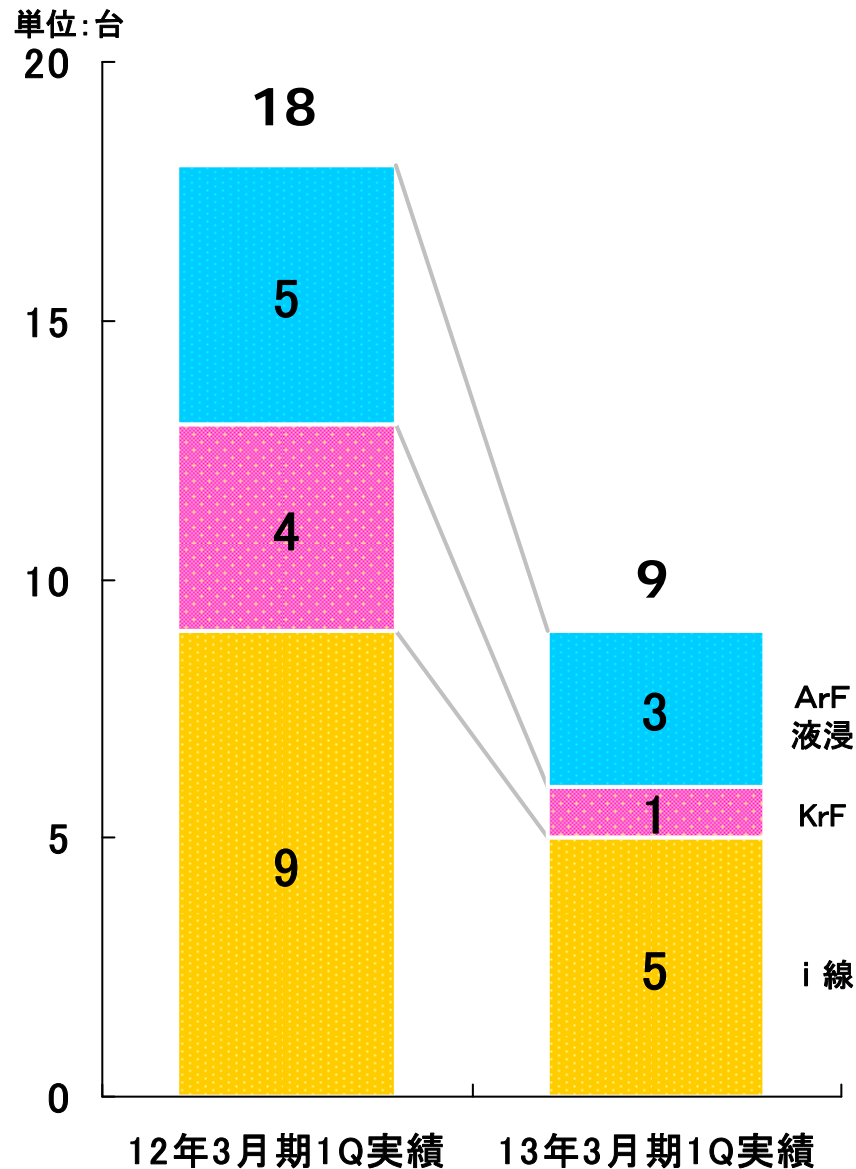
6%増収。各利益は円高影響や販売経費増加などにより減少

* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあります。

単位: 億円	12年3月期 1Q	13年3月期 1Q	前年実績比
売上高	616	522	▲94
営業利益	106	102	▲4
売上高比	17.2%	19.5%	
半導体露光装置 新品/中古	11/7台	6/3台	▲5/ ▲4台
液晶露光装置	24台	22台	▲2台

半導体露光装置は、前年に推進したArF液浸スキャナー製造リードタイム短縮などの収益構造改善効果が出ている。液晶用は中小型パネル用を中心に好調な販売台数。カンパニー全体では高い営業利益率を確保

半導体露光装置光源別販売台数(中古含む) 液晶露光装置世代別販売台数



単位: 億円	12年3月期 1Q	13年3月期 1Q	前年実績比
売上高	1,670	1,901	+231
営業利益	317	196	▲121
売上高比	19.0%	10.3%	
レンズ交換式 デジタルカメラ	136万台	167万台	+31万台
交換レンズ	200万本	230万本	+30万本
コンパクト デジタルカメラ	395万台	443万台	+48万台

タイ洪水被害から通常の生産量に回復し、レンズ交換式カメラは23%、交換レンズは15%増。コンパクトタイプは市場が縮小するなかで12%の販売台数増。営業利益は円高影響と販売経費増加などで減少



単位: 億円	12年3月期 1Q	13年3月期 1Q	前年実績比
売上高	111	108	▲3
営業利益 売上高比	▲19 —%	▲24 —%	▲5

円高の影響があり、売上高はほぼ前年並み。赤字幅は拡大

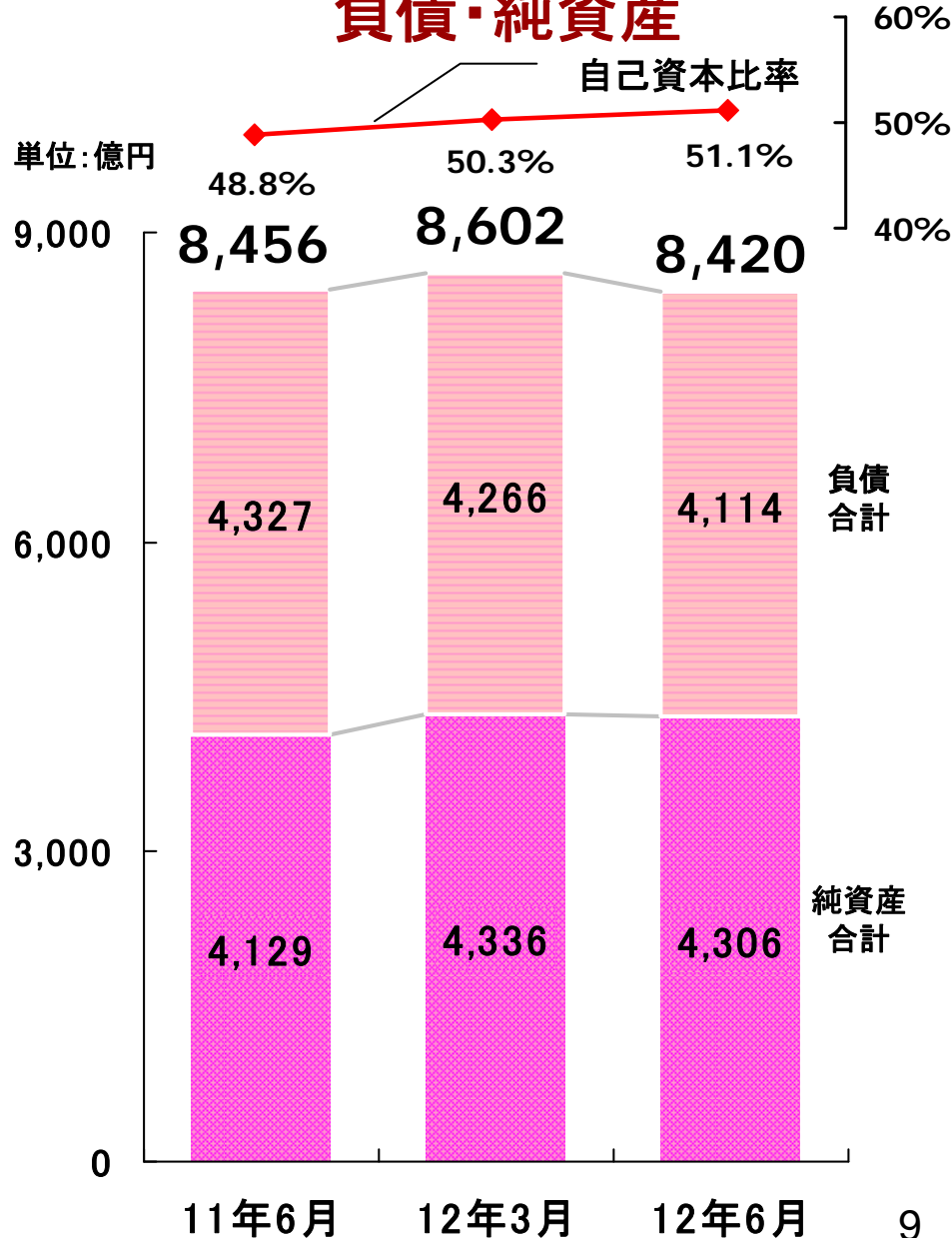
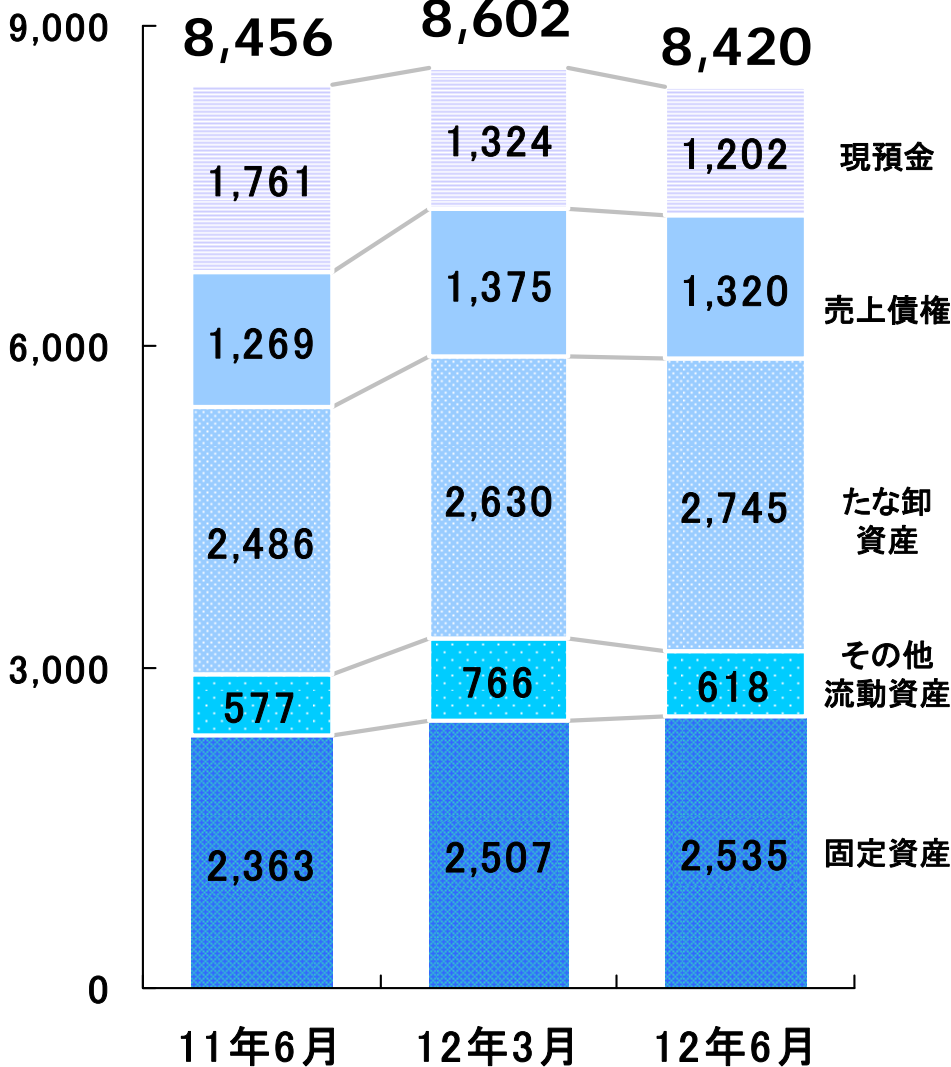
2013年3月期 第1四半期 B/S内訳

資産

負債・純資産

単位: 億円

単位: 億円



Agenda

- I. 2013年3月期 第1四半期の概況
- II. 2013年3月期の見通し**
- III. 参考データ

2013年3月期 見通しポイント

- ◆ 為替前提の変更により、売上高・各利益を下方修正する。
会社全体で増収・増益の計画は変更なし

【精機】

半導体・液晶露光装置ともに市場縮小の影響で販売台数は前年比減少する見通しだが、半導体用の新製品が下期の収益を下支え。前回予想を据え置く。前年比 15%減収、41%減益の見通し

【映像】

販売台数の見通しは不変だが、為替前提の変更により売上高と営業利益を下方修正。前年比 23%増収、39%増益の見通し

【インストルメンツ】

アジア地域など新興国において、バイオ分野では一般向け研究・臨床用生物顕微鏡のシェア拡大を、産業分野では自動車産業など新たな需要を取り込む。前回予想を据え置く。前年比 9%増収、赤字幅縮小の見通し

- ◆ 為替前提を見直す(対ユーロ:105円→100円)
- ◆ 年間配当金は 41円(中間配当金 19円)を予定

2013年3月期 見通し 連結売上高・損益

単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/10)	上期 下期	13年3月期 見通し	上期 下期	前年 実績比	前回 予想比	上期 下期
売上高	9,186	$\frac{4,863}{4,323}$	10,300	$\frac{4,850}{5,450}$	10,200	$\frac{4,850}{5,350}$	+1,014	▲100	$\frac{\pm 0}{\triangle 100}$
営業利益	800	$\frac{611}{189}$	900	$\frac{350}{550}$	850	$\frac{340}{510}$	+50	▲50	$\frac{\triangle 10}{\triangle 40}$
売上高比	8.7%		8.7%		8.3%				
経常利益	893	$\frac{651}{242}$	940	$\frac{380}{560}$	900	$\frac{370}{530}$	+7	▲40	$\frac{\triangle 10}{\triangle 30}$
売上高比	9.7%		9.1%		8.8%				
当期純利益	593	$\frac{504}{89}$	650	$\frac{290}{360}$	600	$\frac{270}{330}$	+7	▲50	$\frac{\triangle 20}{\triangle 30}$
売上高比	6.5%		6.3%		5.9%				
FCF	▲340		300		300		+640	±0	—
為替 ドル	79円	$\frac{80円}{78円}$		80円	80円	$\frac{80円}{80円}$			
ユーロ	109円	$\frac{114円}{104円}$		105円	101円	$\frac{101円}{100円}$			

各地域で景気減速の懸念があるが、各事業の販売台数見通しは据え置く。
ユーロ前提の変更に伴い、通期の売上高と各利益を下方修正する

* 前回予想とは2012年5月10日発表における予想です。

2013年3月期 見通し 精機カンパニー

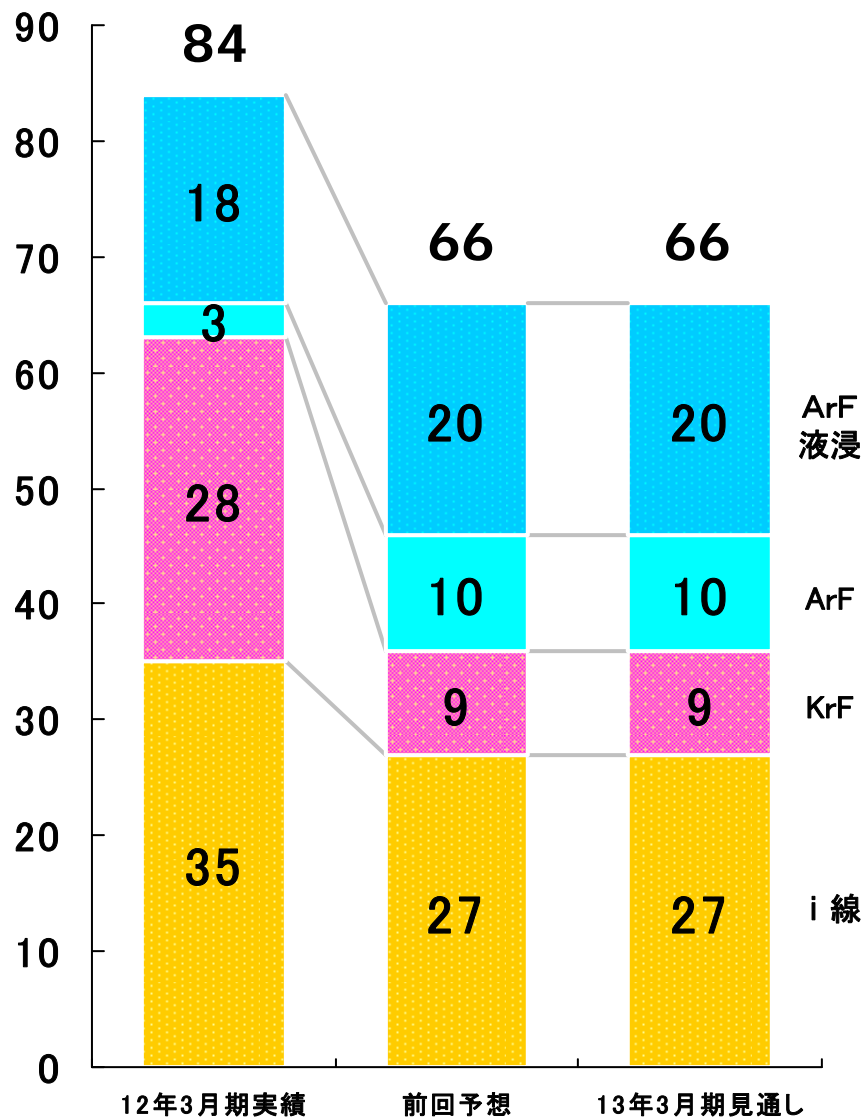
単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/10)	上期 下期	13年3月期 見通し	上期 下期
売上高	2,481	$\frac{1,248}{1,233}$	2,100	$\frac{850}{1,250}$	2,100	$\frac{850}{1,250}$
営業利益 売上高比	427 17.2%	$\frac{232}{195}$	250 11.9%	$\frac{60}{190}$	250 11.9%	$\frac{60}{190}$
半導体露光装置 新品/中古	55/29台	$\frac{26/16}{29/13}$	46/20台	$\frac{12/9}{34/11}$	46/20台	$\frac{12/9}{34/11}$
液晶露光装置	86台	$\frac{48}{38}$	42台	$\frac{28}{14}$	42台	$\frac{28}{14}$
半導体露光装置 市場規模 CY11/12	311台		240台程度		240台程度	
液晶露光装置 市場規模 CY11/12	109台		60台程度		60台程度	

半導体露光装置は、新製品ArF液浸スキャナー「S621D」とArFスキャナー「S320F」の販売が下期に本格化。来期への拡大基調に繋げる。
液晶露光装置では、中小型高精細パネル向けに第5・6世代装置は堅調

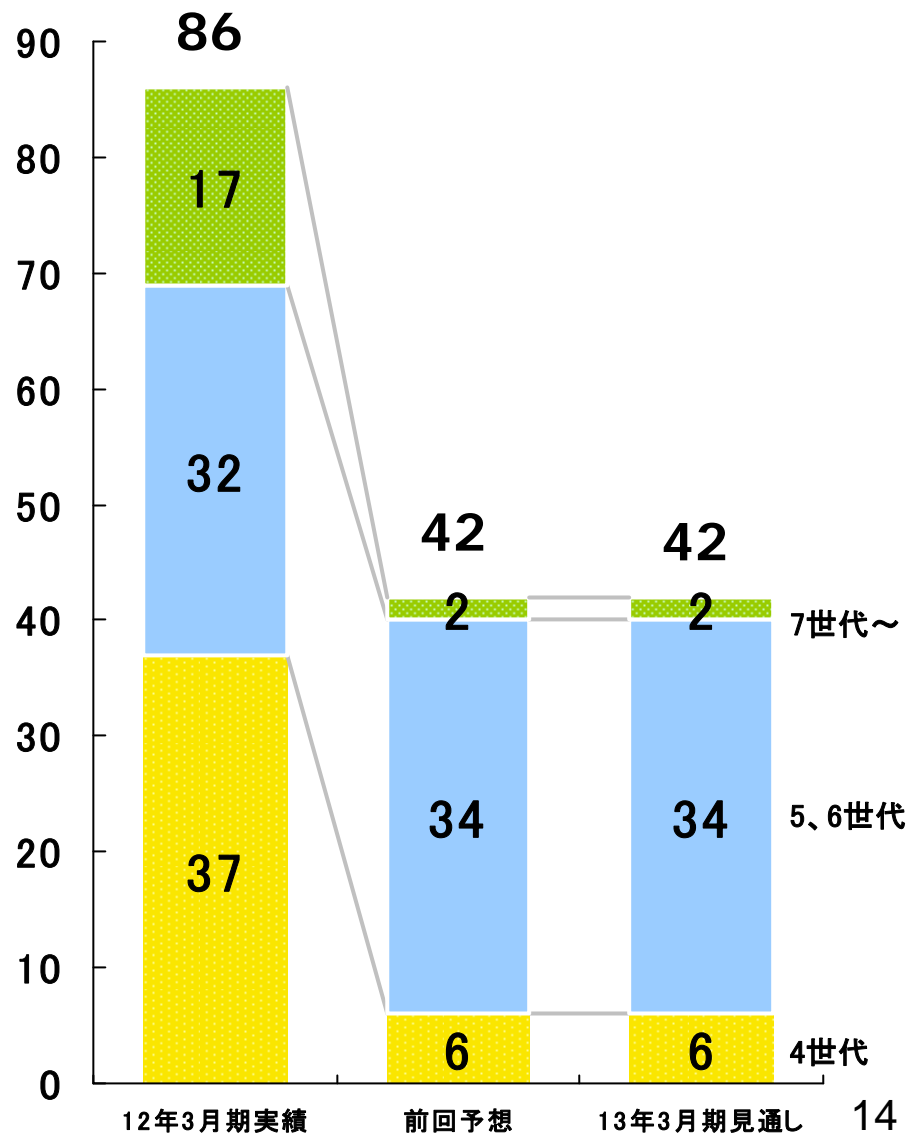
2013年3月期 見通し 精機カンパニー

半導体露光装置光源別販売台数(中古含む) 液晶露光装置世代別販売台数

単位:台



単位:台



2013年3月期 見通し 映像カンパニー

株式会社ニコン
広報・IR部



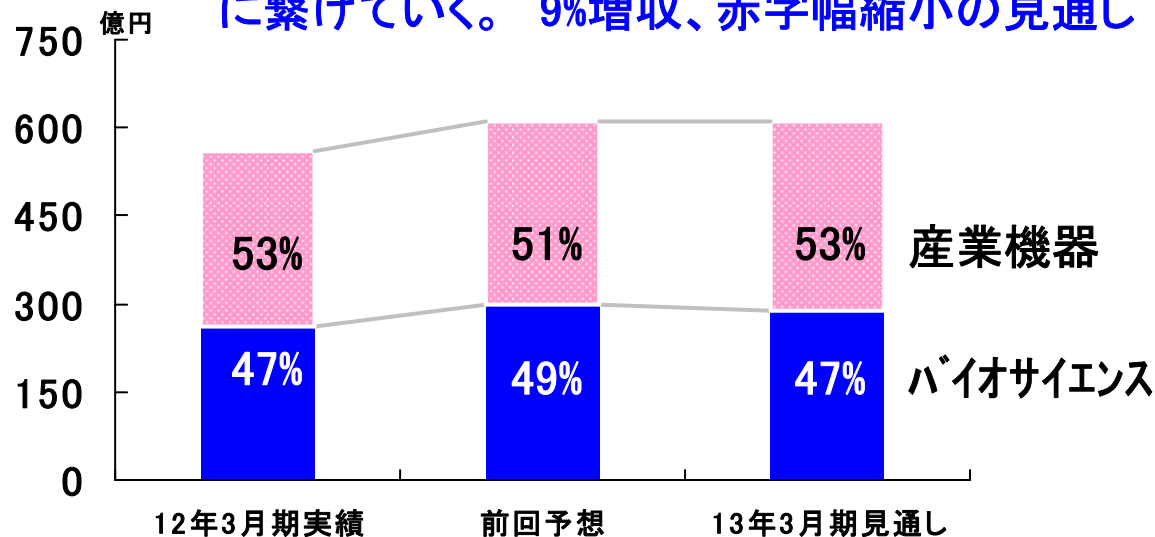
単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/10)	上期 下期	13年3月期 見通し	上期 下期
売上高	5,871	$\frac{3,245}{2,626}$	7,300	$\frac{3,600}{3,700}$	7,200	$\frac{3,600}{3,600}$
営業利益 売上高比	539 9.2%	$\frac{474}{65}$	800 11.0%	$\frac{380}{420}$	750 10.4%	$\frac{370}{380}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	474万台	$\frac{273}{201}$	700万台	$\frac{340}{360}$	700万台	$\frac{340}{360}$
交換レンズ	713万本	$\frac{393}{320}$	1,000万本	$\frac{490}{510}$	1,000万本	$\frac{490}{510}$
コンパクト デジタルカメラ	1,737万台	$\frac{786}{951}$	1,800万台	$\frac{840}{960}$	1,800万台	$\frac{840}{960}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,633万台		1,900万台		1,900万台	
交換レンズ 市場規模	2,641万本		3,100万本		3,100万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	9,933万台		9,500万台		9,500万台	

通期見通しは、販売台数は不変、売上・営業利益は為替前提変更により下方修正

2013年3月期 見通し インストルメンツカンパニー

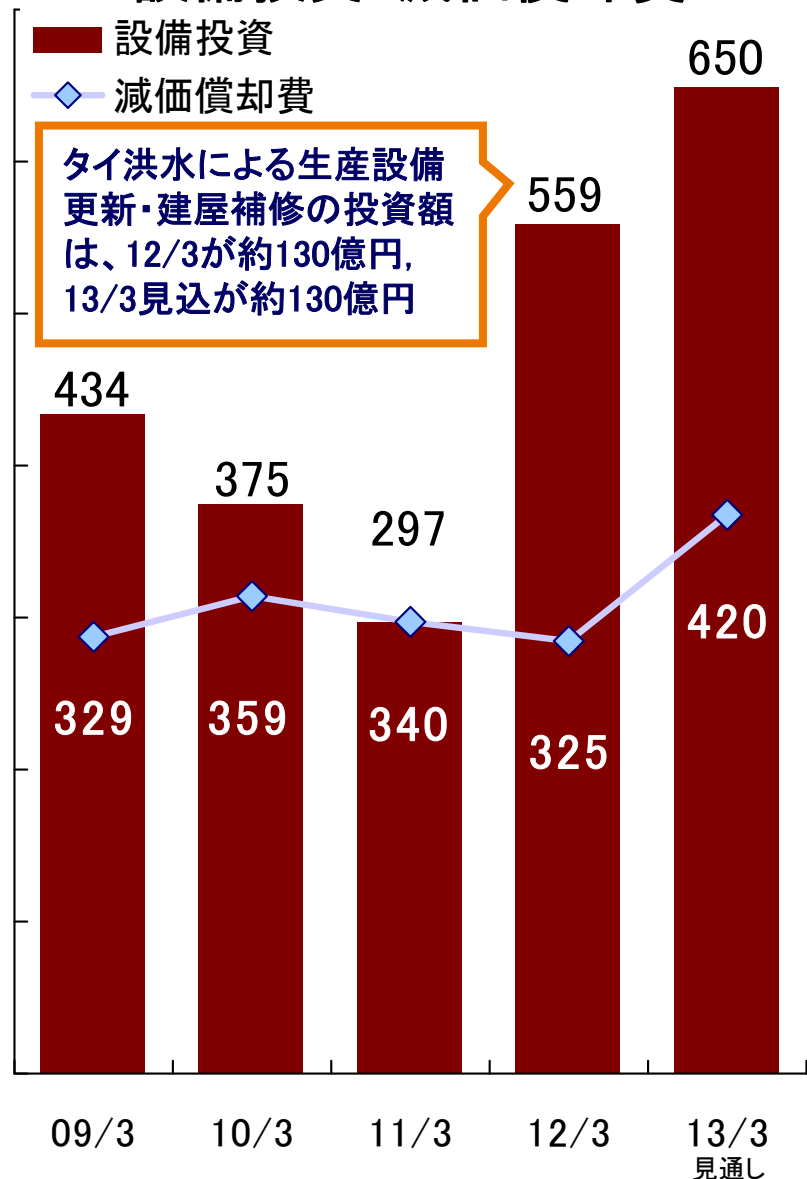
単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/10)	上期 下期	13年3月期 見通し	上期 下期
売上高	560	$\frac{246}{314}$	610	$\frac{240}{370}$	610	$\frac{240}{370}$
営業利益 売上高比	▲31 —%	$\frac{▲23}{▲8}$	▲10 —%	$\frac{▲25}{15}$	▲10 —%	$\frac{▲25}{15}$

Nikon Metrology社の非接触三次元測定機やX線検査装置などは、中期的な成長製品と位置づけており、今期に開発・拡販を推し進め、今後の収益拡大に繋げていく。9%増収、赤字幅縮小の見通し



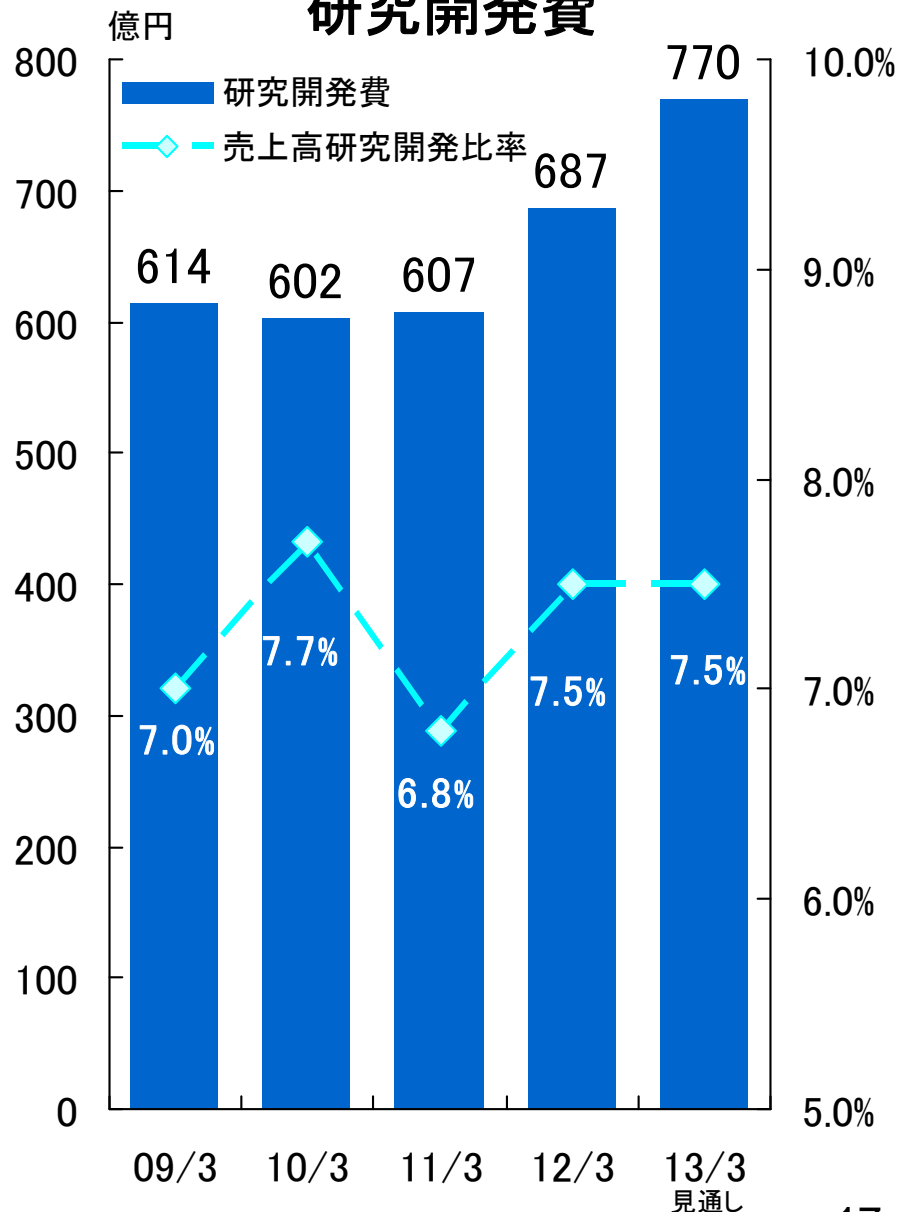


設備投資・減価償却費



注)09/3以降には、リース会計基準の変更に伴うリース資産の取得額を含む。

研究開発費



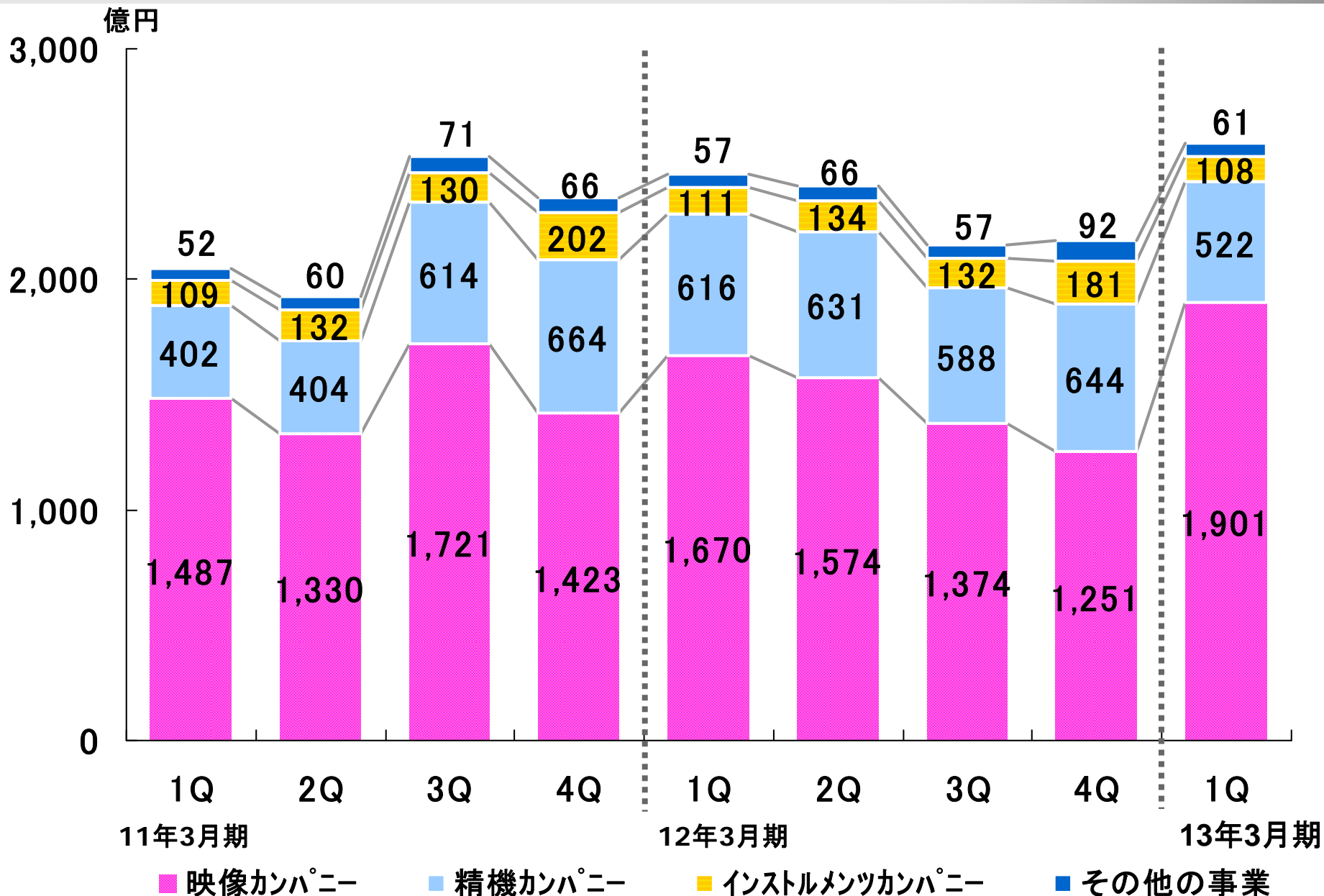
Agenda

- I. 2013年3月期 第1四半期の概況
- II. 2013年3月期の見通し
- III. 参考データ**

2013年3月期 見通し

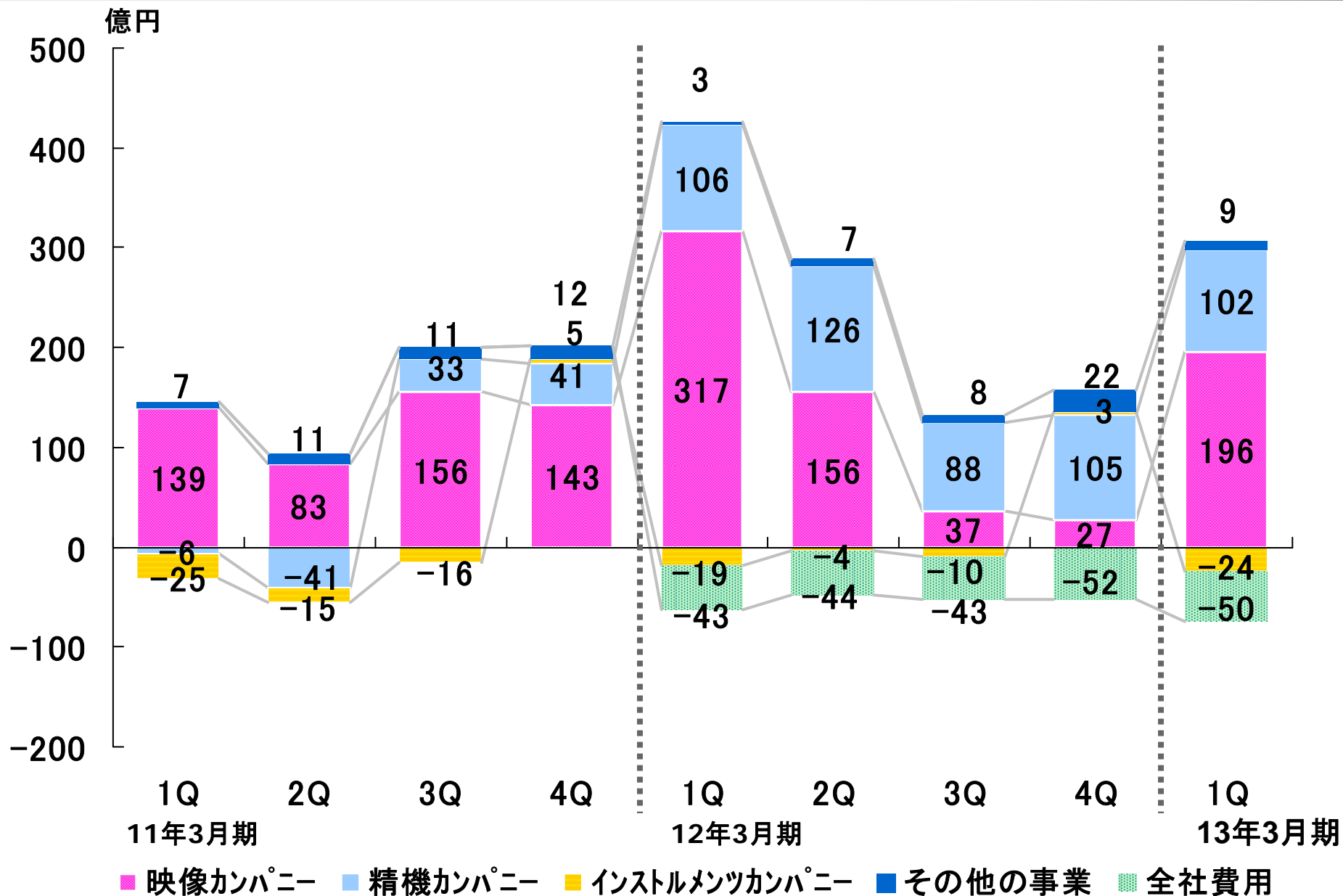
	為替レート	1円の変動による影響額	
	13年3月期 2Q～4Q前提	売上高 2Q～4Q	営業利益 2Q～4Q
USドル	80円	約 50億円	約 5億円
ユーロ	100円	約 18億円	約 11億円

参考データ 四半期セグメント別売上高推移



* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあるため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

参考データ 四半期セグメント別営業利益推移



* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあるため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。



NIKON CORPORATION